

報道関係者各位

関係者各位

株式会社オーガントック

オーガントック、Morning Pitchに登壇 ～ 器官再生技術の医療応用事業について発表 ～

世界初の器官再生技術*の医療分野への応用に取り組む、株式会社オーガントック（本社：東京都中央区、代表取締役CEO：下義生、以下：オーガントック）は、2026年2月12日（木）に開催された「第573回富裕層マネーが集まる“最注目投資領域”特集」（主催：デロイト トーマツ ベンチャーサポート株式会社／野村證券株式会社）のMorning Pitchに参加しました。

同イベントでは、当社を代表してCTOの小川美帆が登壇しました。

Morning Pitchは、毎週木曜AM7時から開催している、ベンチャー企業と大企業の事業提携を生み出すことを目的としたピッチイベントです。毎週5社のベンチャー企業が、大企業・ベンチャーキャピタル・金融機関・メディア・自治体等のオーディエンス約150名に対しピッチを行うものです。2013年1月の開始以来、累計で約3,000社のベンチャー企業が登壇しています。



当日は、小川よりオーガントックが有する器官再生技術の応用事例について紹介しました。具体的には、歯の再生を目指す「次世代バイオインプラント事業」や「毛髪の再生医療事業」の社会実装に向けた研究開発の状況、ヘルスケア企業などに対する「三次元人工皮膚を用いた研究開発支援」について説明しました。

聴衆からは、治療（サービス）の提供開始時期や提供場所、海外展開において米国市場を最優先とする理由など、多くの質問が寄せられ、本技術および事業への高い関心が示されました。

オーガントックは、次世代バイオインプラントの社会実装を目指し、グローバルマーケットでの展開も進めています。今後も、Morning Pitchのような事業提携の場を通して積極的に情報発信を行い、医療機器・再生医療分野の研究開発を通じて、新たな高付加価値型産業の創出と、人々の生活の質の向上、健康長寿社会の実現に貢献してまいります。

*ほぼ全ての器官は、胎児期に一度だけ、上皮幹細胞と間葉系幹細胞から構成される器官原基から発生します。成熟して完全に機能する器官が形成されるプロセスは、上皮と間葉の両方の細胞集団が、複雑な分子シグナルをやり取りしながら進行します。当社長である辻 孝は、2007年に世界に先駆けて、器官原基の上皮幹細胞と間葉系幹細胞を分離後、高密度に区画化することで器官原基を再現する方法を開発しました(*Nature Methods* 2007)。この技術を器官原基法と言います。この器官原基法を用いることにより、歯、毛包、唾液腺や涙腺といった器官を機能的に再生できることを実証しています。

以上

お問い合わせ

株式会社オーガントック 広報

住所：東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル6階

電話：03-5859-5761

E-mail：info@organ-tech.jp HP：<https://www.organ-tech.jp/>